

2026年1月7日
株式会社SVPジャパン

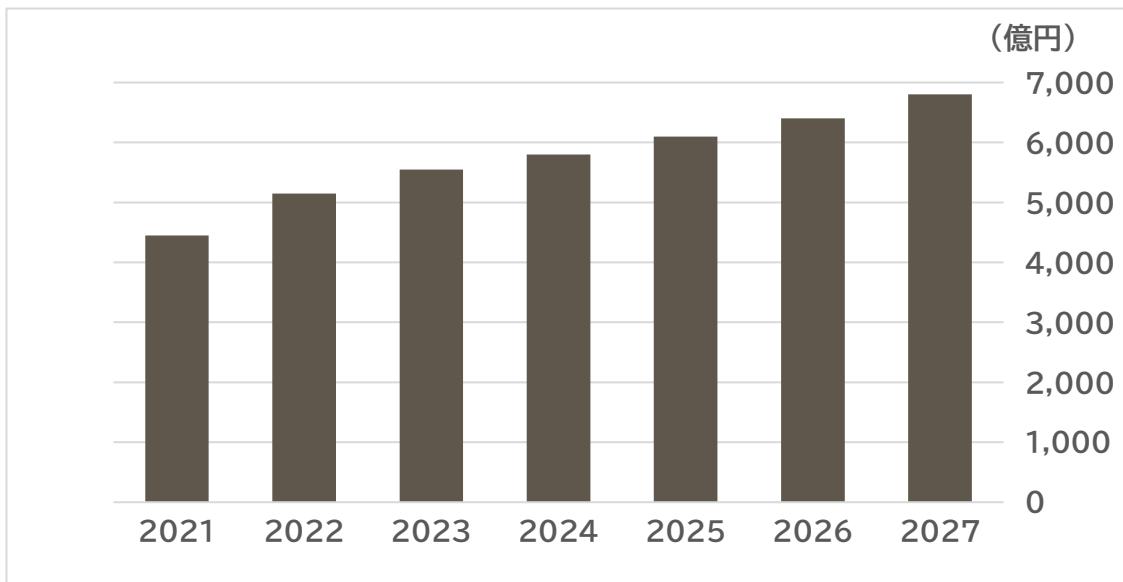
SVP注目市場分析 「動画配信サービス」を公開

～多様な事業者が競合する市場構造と競争戦略～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「動画配信サービス-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■動画配信サービスの国内市場



動画配信サービスは、利用者から視聴料を受け取る有料サービスのTVODやSVOD、動画再生時に広告を表示することで無料提供するAVODを中心に多様化が進んでおり、近年は広告付きの低価格プランなど新たなモデルも登場している。2015年に米国大手のNetflixが日本でサービスを開始し、スマートフォンの普及を契機に市場は拡大、さらにコロナ禍を通じて急成長した。足元では成長率の鈍化がみられるものの、オリジナル・独占コンテンツの強化やインターネットテレビの普及を背景に利用は定着している。

2024年の市場規模は、約5,800億円であったと推定され、今後も緩やかな成長が続き、2027年にはさらに拡大すると予測する。

■動画配信サービスの市場概況

国内の動画配信サービス市場では、世界最大手のNetflixが首位のシェアを占め、国内企業のU-NEXTやアマゾンジャパンがこれに続く構図となっている。各社は、オリジナル・独占コンテンツの強化に加え、スポーツやアニメなどジャンル特化型の展開を通じて差別化を図っている。近年は、通信キャリアやテレビ局との連携、サービス統合による利用者基盤の拡大も進んでいる。また、広告付き配信や定額制と広告を組み合わせた収益モデルの導入が広がり、無料・有料の垣根が曖昧になりつつある。

国内で動画配信サービスを提供している企業は、外資系企業、国内のテレビ局系、インターネット関連企業や通信キャリアなどが競合する中、事業戦略の違いが市場構造に影響を与えている。



■本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クリックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

2月のテーマは「ポイント消費」と「調理ロボット」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛎殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com